

《暫定版》

女性消防吏員向けアンケート結果ポイント

女性消防職員	3, 8 7 5 人 (H27. 4. 1 現在)
うちアンケート送付	3 8 8 人 (女性消防職員の 1 割)
回収数	3 3 6 人 (回収率 8 6 . 6 %)

【交代制勤務等について】(資料 1-1 P2)

- 「交代制勤務を行うことができないと思う期間があるとすればいつだと思うか。」という問に対し、「妊娠から出産するまで」という回答が 4 1 . 2 % で最も多く、次いで「出産から子どもが保育園(幼稚園)等に入るまで」という回答が 2 6 . 1 % であった。
- 消防隊や救急隊 1 隊あたりに配置可能だと思う女性の人数は、1 名が多数であった。

【キャリア等について】(P3~5)

- 現在の業務が「やりがいがある」「自分がやりたかった業務である」について、「非常にそう思う」「そう思う」と答えた割合は 6 ~ 8 割程度であり、満足度が高い状況がうかがえたが、一方で部下を持ち管理監督する立場になるまで昇任したいと思わない人の割合は、約半数 (4 9 . 1 %) であった。
- 「5 年後の自分の立場や業務内容がイメージできるか」や、「職場に今後の自分の業務や昇任を考える上で参考となるような女性職員がいるか」という問について、「できる」「いる」と答えた割合は、約 4 5 % であったが、小規模本部や中規模本部においては、その割合は低い傾向であった。
- 「女性が“やりがい”を持ちながら働き続けるための支援として必要だと思われるもの」については、「仕事と家庭の両立支援制度の充実」が 2 2 . 0 % と最も多く、「管理職や職場の職員の理解・配慮」、「男性の理解・参加」が次いで多かった。

【採用等について】(P6)

- 「消防の職場に女性はもっと増えるべきだと思うか」という問に対し、「思う」と答えた割合は 5 1 . 8 % であったが、大規模本部では「思う」が低い傾向にあった。また、「女性が増えないのは何故だと思うか」という問に対しては、「女性が働く職場というイメージがない」という答えが 3 3 . 6 % で最も多かった。

- 「女性消防吏員が増えることのメリットはどのようなことだと考えるか」という問に対しては、「救急活動時に女性傷病者に安心感を与えることができる」という答えが28.4%で最も多く、次いで、「消防業務全般において市民へのサービスが向上する」「女性吏員が働きやすくなる」「男女を問わず働きやすい職場環境となる」という答えが多かった。

【結婚・出産・子育てについて】(P7)

- 子どもがいる女性消防職員（112人）に対し、「結婚・出産・子育ては、仕事と家庭を両立させる上で大きな困難となると思うか」と問うたところ、「思う」と答えた割合は75.0%であり、その理由として、「時間外に対応せざるを得ない業務がある」（24.5%）や「勤務時間に合う子どもの預け先の確保が困難」（23.1%）と答えた割合が高く、次いで「交代制の勤務制度」（17.1%）と答えた者が多かった。また、大規模災害が発生した場合に直ちに職場に参集することが非常に困難と感じる割合も48.2%と高かった。
- 「交代制勤務を続けるためには、組織としてどのような支援等が不可欠であるか」との問には、「緊急時に子どもを預けるところ」と答えた割合が42.1%と最も高かった。

【庁舎施設等について】(P8)

- 「所属する本部の施設に、不満を感じるか」という問に対し、「感じる」と答えた割合は43.2%であり、「どのような施設に不満を感じるか」については、仮眠室が26.3%、トイレが20.8%と割合が高かった。また、規模別に見て平均を上回った主なものは、大規模本部の更衣室、小規模本部の仮眠室、中規模・小規模本部の浴室であった。